

★★ 読書週間給食 ★★

11月6日～24日は読書週間です。本を読んでいると出てくる料理やお菓子を、食べてみたいと思ったことはありませんか？図書の大澤先生に協力していただき、本に出てくるメニューを給食に取り入れました。大澤先生に書いていただいた紹介文を以下にのせます。読みたくなったらぜひ図書館へ！本にも食事にも興味がわいてくれたらうれしいです。

11月7日(火) 『ライスボールとみそ蔵と』横田 明子 作 塚越 文雄 絵

*ごはん *みそ入りとうふナゲット *炒め物 *みそ蔵みそ汁 *牛乳

ジュンの家は、おみそやさん。古い蔵で手作りみそを作っています。「みそっ子」とからかわれたり、おみそのことはあまり好きではなかったけれど、イギリスから転校してきた ユキちゃんに「蔵を見せてほしい」とたのまれたことがきっかけで、おみそに興味を持ち、友だちと楽しいイベントまで考えてしまいます。

体にもいいおみその料理、楽しみですね！



11月14日(火) 『給食室のいちにち』大塚 菜生 文 イシヤマ アズサ 絵

*カレーライス *サラダ *ゼリー *牛乳

給食はどうやってみんなのところまでとどくのかな？給食室で働いたことのある作家が書いた本です。みんなのためにたくさんの方が、いろいろなチェックをして、安全でおいしい給食を作ってくれていることがわかります。

今日のメニューは何かな？ いいかおりがしてきましたね。いつもおいしい給食を作ってくれている皆さんに

「ありがとう。ごちそうさま」



気になったら 図書室へ！

裏面につづきます！

11月21日(火) 『14ひきのかぼちゃ』 いわむら かずお 作

*きつねうどん *あえもの *かぼちゃまんじゅう *牛乳

14ひきのなかよしねずみの家族。みんなでかぼちゃを育てることになりました。

土をたがやし種をまきました。「しっかりめをだしてね」となっちゃん。なかなかめがでなくて心配なこどもたち…。やっとなめがでてきて、そのあとかぼちゃはどうなったのでしょうか。

ほかにも14ひきのシリーズは図書室にもあるので読んでみてくださいね。



感謝を込めていただきます！ ごちそうさま！






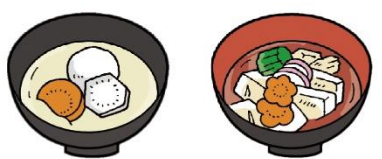
食事の前後のあいさつには、食べ物への命をいただくことや、食事をつくるためにかかわった人々への感謝の気持ちが込められています。心を込めてあいさつをしましょう。



世界に誇れる和食文化

2013年に「和食；日本人の伝統的な食文化-正月を例として-」はユネスコ無形文化遺産に登録されました。その特徴を右の表で紹介いたします。無形文化とは、目に見える形では残らないため、わたしたちが日々の食生活を通じて未来へと伝えていくことが重要です。

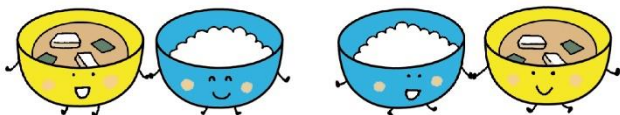
和食の特徴

<p>①多様で新鮮な食材と素材の味わいを活用</p> 	<p>②バランスがよく、健康的な食生活</p> 
<p>③自然の美しさの表現</p> 	<p>④年中行事との関わり</p> 



和食クイズに挑戦してみましょう。

1 配ぜんする時のごはんとみそ汁の位置はどっちが右でどっちが左？



答え：ごはんが左でみそ汁が右

2 調味料を加える順番の「さしすせそ」の「せ」は何？



答え：しょうゆ (せ)